

一般質問 (要旨)

市政について問う

★…一問一答方式

- 1 松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)
- ①シルバー人材センターとの連携状況について
- ②JR立川駅前周辺地域の状況について
- ③富士見町地域周辺の施策について
- 2 谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク)★
- ①誰のための給食運営か? ～学校給食共同調理場から提供した給食に起因する集団食中毒について
- ②中学校入学用品から考える「公教育の私費負担について
- 3 江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)★
- ①地域防災計画について
- ②マイナンバーについて
- ③市民の健康と医療について
- ④昼間人口について
- 4 若木 早苗 (日本共産党)★
- ①発達障害のある方への支援体制について
- ②安心して利用できる介護制度について
- ③子どもから高齢者まで安心して過ごせる砂川地域のまちづくりについて
- 5 中町 聡 (日本共産党)★
- ①子育て支援について
- ②市民が安全に暮らせるマンション・集合住宅について
- ③SNSやアプリを使った若者支援について

- 6 瀬 順弘 (公明党)★
- ①自転車の駐車環境について
- ②文化施設について
- 7 山本 みちよ (公明党)★
- ①「地域共生社会」を目指して
- 8 大沢 純一 (公明党)★
- ①立川市財政のあり方について
- ②立川市の図書館のあり方について
- 9 門倉 正子 (公明党)★
- ①離婚後のこどもの養育支援に関する取り組みについて
- ②命を守る防災対策を!
- 10 高口 靖彦 (公明党)★
- ①防災・減災について
- ②立川市の30年後を見据えて
- ③砂川地域のまちづくりについて
- 11 稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)★
- ①「学校図書館」での学び・居場所の充実を!!
- ②立川で常設の「冒険遊び場IIプレイパーク」の実現を!!
- ③二巡目の「避難所運営マニュアル」策定に向けた取り組みについて
- 12 上條 彰一 (日本共産党)★
- ①防災対策の強化について
- ②図書館行政について
- ③生活保護行政について
- 13 大沢 豊 (緑たちかわ)★
- ①都が行った「子供の生活実態調査」について
- ②一部事務組合について
- ③原発事故処理費用の新電力への上乗せについて
- 14 中山 ひと美 (たちかわ自民党・安進会)
- ①読解力の低下について
- ②大災害対策の一つとしての銭湯について
- ③不登校児童・生徒対応及び対策について

○議長、副議長及び監査委員は、その職務の性格上、一般質問を行っていません。



学校給食単独調理校の存続を

安全な給食提供を第一に総合的に判断したい

谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク)

問

2月の学校給食による集団食中毒の原因はキザミのりで、共同調理場の調理過程に問題はなかったことですが、食材の発注量の多さ、施設、事務、衛生管理などを委託して、財政面も含めた効率的なメリットを優先したために、リスクが分散できない結果でした。スクラップ・アンド・ビルドで単独調理校を閉鎖し中学校給食完全実施による共同調理場を建設となっていますが、単独調理方式である小学校の調理場の存続を求めます。

答

学校給食で最優先すべきことは安全な給食を提供することと考えています。学識経験者や医師等で構成する食中毒再発防止対策検討委員会からの提言を受け、再発防止対策をまとめたところです。今回共同調理場そのものに瑕疵はなく、納入された加工品のキザミのりが原因であり、他の単独調理校でも同じ事態が起きています。学校給食のあり方については、共同調理場、単独調理校の状況を総合的に判断していきたい。

シルバー人材センター、市道1級1号線の歩道補修について

松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)

問

シルバー人材センターは、国から生涯現役社会実現の必要性などその位置づけが示されています。立川市シルバー人材センターは、需要と供給のバランスを考慮しながら健闘されており、発注機会の確保や支援体制などの連携状況について伺います。また、市道1級1号線は、本市を東西に横断する幹線道路であり、富士見町地域では夏祭りの会場ともなっていますが、歩道も含めた路面補修について伺います。

答

本市では、高齢者の就業や社会参画支援、老後の生きがいづくりや社会経験の豊かな人材の労働力としての活用につながるため、シルバー人材センターへの支援として運営に係る人件費や事業費に対して補助金を交付するとともに、市の各部署で発注機会の確保を図っています。また、1級1号線の柴崎町などで歩道が新しくなったのはガス工事などの本復旧工事によるものであり、現在市で歩道の路面補修工事の計画はありません。

廃止された北ルート of 復活を

ご意見を聞き、くるりんバスの運行改善を検討

若木 早苗 (日本共産党)

問

砂川地域の方からルート変更後廃止された西東ルート、北ルートの復活を求める声が多くあります。ある高齢者の方は乗り換えが大変になり、通院が困難になったとのこと。砂川町に新しいルートはできましたが、市庁舎やJR立川駅などに行きたいという住民の意図とボタンの掛け違いがあるのではないのでしょうか。アンケートや懇談会で地元の意見を聞くとともに、実態調査などが必要だと考えますが、見解を伺います。

答

現在の砂川ルートは、路線バスとの競合を避け、鉄軌道駅などの既存公共交通との有機的な連携及びラウンドダイヤの導入が必要などから決定しました。廃止が継続の二者択一ではなく、まずは改善策の検討が必要ことから5ルート周辺の皆様にアンケート調査を実施しました。今後分析を進めるとともに、5月8日から開催予定の地域別の報告会でご意見を伺い、くるりんバスの運行改善等を検討していきます。

昼間人口を見据えた行政運営は

住み続けたいまちに向け、オール立川で取り組む

江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)

問

昼間人口が増えるということは、通勤・通学の方が増えるということ。つまり人がまちに来て、にぎわい、お金を落とすにたき、それがさらに市民サービスにつながると思います。昼間人口と交流人口との違いを踏まえ、企業誘致等で市内に通勤される方を増やす数値目標があればお示しください。一方、静かに暮らしたいと考える市民もいることから、にぎわいとやすらぎのバランスにも配慮して進めていただきたい。

答

交通の要衝で商都でもある本市は、通勤流入割合が高く就業に關して広域的な拠点性を持っています。企業誘致の数値目標はありませんが、交流の増で地域雇用を創出する観点から、来訪者数を第四次長期総合計画では平成25年度の4千100万人に対し、平成31年度4千280万人とする目標を設定しています。交流を中心に据えながら、市民が住み続けたいまちづくりに向け、市民、地域団体、事業者などオール立川で取り組みます。

自転車駐車場の混雑解消を

一時利用への転用は指定管理者と協議したい

瀬 順弘 (公明党)

問

立川駅北口臨時有料自転車駐車場の廃止から約半年が経過しましたが、中央図書館やアイムに行く方もよく利用される北口第一有料自転車駐車場の一時利用は、土日に限らず大変混雑している状況です。定期利用の枠分で土日にかなり空きがあるのであれば、その空き分を土日に限って一時利用に、暫定的に転用してはどうでしょうか。また、すべての自転車駐車場にインターネットの満空情報提供サービスを導入していただきたい。

答

北口第一有料自転車駐車場は、時間帯により満車で空き待ちの利用者がいることは承知しています。北口第一有料自転車駐車場の定期利用率は土休日は約40%なので、一時利用者への有効活用は可能と考えています。が、管理や運用等、課題があるので指定管理者と協議し、他の自転車駐車場も含め検討していきたい。またすべての自転車駐車場へ満空情報提供サービスの導入についても、費用対効果も含めて検討したい。

新入学学用品費の前倒し支給を

他市の動向を踏まえ検討したい

中町 聡 (日本共産党)

問

本市の就学援助制度の新入学学用品費は、国の基準と同じ小学校で2万470円、中学校で2万3千550円です。生活保護世帯の入学準備一時扶助は、小学校で4万600円、中学校で4万7千400円です。新入学学用品費は、生活保護世帯の扶助と同額まで引き上げるべきです。また、支給時期が8月末から9月上旬ですが、前倒しして入学前に支給すべきではないでしょうか。全国でも88の自治体で支給時期の見直しが行われています。

答

国は平成29年度から小学校は4万600円、中学校で4万7千400円に新入学学用品費の基準単価を引き上げる予定ですが、その決定に沿って、国の基準に準じるか協議、検討を進めます。就学援助の認定基準は世帯の前年の総収入額のため4月上旬の申請、6月の住民税課税決定後に世帯収入の確認、8月末ごろの支給となっています。支給の前倒しについては、世帯収入の確認方法などの課題があり、他市の動向を踏まえ検討していきます。